

シマアメンボ

2021.2.5 自然解説員 神谷耀生



寒い冬のある日、分厚いコートに身をくるんで森の中を流れる小川をなんとなく見つめていたときのこと。

「すいっ、すいっ、すいっ」

なにかがすばやく水面を横切っていきました。この寒い時期に昆虫が活動している……？

正体はシマアメンボ。特殊メイクのような しまもよう 縞模様

が美しいアメンボで、真冬にも活動することがあるのだとか。ユスリカのような小さな虫を捕まえて食べていました。

アメンボの仲間はふつう、冬の間は木の皮のすきまや落ち葉の下などで冬眠すると言われていますが、観察例が少なく、身近な虫なのにまだまだわかっていないことが多いようです。

シマアメンボは大海原で活動するウミアメンボに近い仲間なので、他のアメンボとは違って、冬眠しなくてもきびしい温度変化にたえられる秘密でもあるのでしょうか。どこにでもいるような種類でも、「なぜ？どうして？」という気持ちで観察をすると不思議がたくさんつまっているのが、昆虫の魅力のひとつかなと思います。